地区：仙台市　震災語り部

ジャンル：　震災語り部

対象：　教育旅行　団体旅行　個人旅行

いわぬま震災語り部の会

学びのポイント

・岩沼市における東日本大震災の避難行動(※)や、いわぬま震災語り部の会のメンバーの教訓から、“自分の命は自分で守ること”を意識し、災害発生時に適切な判断ができるよう、日ごろから災害への知識をつけ、具体的な減災対策を行うことの大切さを学びます。

・“千年先まで笑顔で幸せに暮らせるように”多くの人々の復興への願いが込められた千年希望の丘プロジェクト。被災した家屋などの震災がれきを再利用して整備した津波避難丘、市民や国内外のボランティアが参加した「緑の堤防」づくりなど、人々の想いと、プロジェクトの意義について考えることができます。

※岩沼市における東日本大震災の避難行動：岩沼市では、一旦避難した後に“津波は来ない”と引き返し犠牲になった人が少なくありませんでした。同市の津波到達時間が、地震発生から1時間以上後だったことも要因だと考えられています。

1．内容

説 明	仙台市中心部から南へ18kmに位置する岩沼市。仙台空港を擁し、東北と首都圏を結ぶ国道4号と国道6号や、JR東北本線と常磐線のそれぞれが合流する交通の要衝です。古くは奥州街道の宿場町で、日本三稲荷、竹駒神社の門前町として栄えた歴史があります。また、沿岸部の玉浦地区は江戸時代からの集落が点在し、農業が盛んに行われてきました。 東日本大震災では、平野が市内の広範囲に広がる地形によって市域の約48%が津波で浸水、宮城県内の被災自治体で最大割合の浸水面積となりました。 いわぬま震災語り部の会は、震災後に千年希望の丘で語り部活動を続けてきた有志に、活動の賛同者が加わり、震災から12年となる2023年、想いをつなぐ後継者を育てていくことを目指して組織化しました。 震災の記憶と教訓を次世代に伝えることを使命に、千年希望の丘 相野釜公園内にある慰霊碑、避難丘などを巡りながら、震災発生時の様子や岩沼市の復興への取り組みなどについて説明。「そなえよ! つねに」「自分のいのちは自分で守る」とのメッセージを伝えています。
実施形態	千年希望の丘 相野釜公園内を歩きながらの語り部

2．案内ルート（例）千年希望の丘　相野釜公園：所要時間90分　※60分コースもあります。

作成：宮城県復興支援・伝承課　みやぎ教育旅行等コーディネート支援センター

3．情報①

所要時間	約60分～90分
催行人数	最小5名～最大90名程度まで（要相談）
実施可能時間	9:00～16:00
定休日	火曜日（祝日の場合は翌平日）、年末年始 ※千年希望の丘交流センターに準じる
場所	集合・解散場所：千年希望の丘交流センター 案内エリア：千年希望の丘相野釜公園
予約受付	予約受付：千年希望の丘交流センター 案内実施：いわぬま震災語り部の会 ＜予約方法＞ 電話にて空き状況を確認後、電話、FAX、メールにて実施日の1週間前までに予約 予約の受付開始は原則実施日の4か月前から行いますが、4か月より前は仮予約として受け付けます 問合せ・予約先 ： 千年希望の丘交流センター TEL：0223-23-8577

4．料金

料金	語り部ガイド1名につき 3,000円（税込） ※語り部ガイド1名につき、参加人数は30名まで		
支払い方法	当日現金払い	キャンセルポリシー	なし （キャンセルの連絡は前日までにお願いいたします）

5．アクセス

所在地	＜集合・解散場所＞ 千年希望の丘 相野釜公園内 千年希望の丘交流センター 〒989-2421 宮城県岩沼市下野郷字浜177 Googleマップ：https://maps.app.goo.gl/qaE2twgiHAuCdf8B7	
駐車場	相野釜公園 ：普通車73台、障がい者等優先2台、大型バス2台	
アクセス	車	**[千年希望の丘　相野釜公園]** JR東北本線岩沼駅より車で約20分 仙台東部道路岩沼ICより車で約10分 仙台空港ICより車で約7分
	その他	**[千年希望の丘　相野釜公園]** 電車利用の場合 仙台空港アクセス線仙台空港駅より徒歩約17分 タクシー利用の場合 JR岩沼駅より約20分
各地からの所要時間		**[千年希望の丘　相野釜公園]** ・仙台駅から仙台東部道路を経由して車で約45分（一般道を経由した場合も車で約45分） ・仙台空港から車で約5分 ・松島海岸から三陸自動車道～仙台東部道路を経由して車で約40分

6．情報②

トイレ	相野釜公園： 男性用5・女性用3・バリアフリートイレ1 交流センター：男性用2・女性用2・バリアフリートイレ1				
バリアフリー	60分ほど屋外を歩くプログラムです 階段の上り下りがあります ・千年希望の丘にある14基の丘のうち、1号丘を除きスロープあり ・慰霊碑周辺にスロープあり ・交流センター入口に段差なし	買物施設	相野釜公園内に自動販売機あり	食事施設	なし
その他	交流センター出入口付近にAED設置あり				

7．注意事項

服装	歩きやすい服装・靴、雨具
雨天時の対応	決行（雨具持参必須） ※内容が変更になる場合あり

8．災害時の対応

周辺の避難場所	相野釜公園での語り部ガイド：語り部ガイドより案内開始前に非常時の避難方法と避難経路を説明。災害時は指示に従い避難。

9．出張・オンライン対応

出張対応	応相談	オンライン対応	なし

10．その他

事前・事後学習資料	・千年希望の丘ポータルサイト（千年希望の丘交流センターホームページ） https://sennen-kibouno-oka.com/ ・千年希望の丘の概要と防災について学べるDVDを提供可能（1校につき1つまで） ※ご希望の場合は千年希望の丘交流センターにお問合せください ・語り部ガイドを受けられた方に、千年希望の丘と東日本大震災について復習できるワークシート（1枚）をお渡ししています
外国語対応	通訳者同行の場合は対応可
周辺施設	いわぬまひつじ村：相野釜公園より車で約5分 竹駒神社：相野釜公園より車で約18分 金蛇水神社：相野釜公園より車で約20分 名取市サイクルスポーツセンター：相野釜公園より車で約11分 かわまちてらす閖上：相野釜公園より車で約14分

11．お問合せ・お申込み先

問合せ 申込み先	**千年希望の丘交流センター** ［問合せ］TEL:0223-23-8577 ［申込み］https://sennen-kibouno-oka.com/possible/ ※電話にて空き状況を確認後、電話、FAX、メールにて予約
申込期限	予約の受付開始は原則実施日の4か月前から1週間前まで ※4か月より前は仮予約として受け付けます

ご案内コース例

【千年希望の丘 相野釜公園での震災語り部（90分）】

待ちあわせ・説明

千年希望の丘交流センター
防災学習や環境保全活動を行う方々の交流拠点施設です。展示パネル、写真、動画などを通じて、「震災犠牲者の慰霊」「津波からの多重防御」「震災伝承」の3つの役割を兼ねた千年希望の丘プロジェクトの概要、岩沼市の震災の被災状況、復興計画と復興への歩みを学ぶことができます。

徒歩移動

慰霊

東日本大震災 慰霊碑
人と人が支え合う形をイメージした慰霊碑は、この場所に津波が遡上した水位と同じ高さ、8.0mで作られました。慰霊碑の中心にある鐘には、鎮魂、記憶、希望の意味が込められています。

徒歩移動

見学

園路「緑の堤防」
千年希望の丘に整備した14基の避難丘をつなぐ、高さ3mの園路です。園路が津波の力を減衰させる「緑の堤防」になるよう、市民やボランティアの手により、タブノキ、シラカシなど21種類、約40万本が植えられています。植物生態学者の宮脇昭氏が提唱した多種類混植・密植で植えられた樹々は、通常の植樹よりも成長が速く、地中にしっかり根を張り、丈夫に成長するため災害に強いとされています。

徒歩移動

見学

1号丘（避難丘）
千年希望の丘で一番目に作られた避難丘です。多くの方の寄付により整備されました。丘の最上部には日時計があり被災6地区を配置した絵柄が表現されています。
※避難丘は地震発生後に万が一逃げ遅れた場合の避難場所です。地震が発生したら、原則千年希望の丘より内陸（西側）にあるかさ上げ道路を目指し、さらに内陸側へ避難するようになります。

徒歩移動

見学

2号丘（避難丘）
丘の周りがスロープになっており、車椅子でも登ることができるように作られています。すべての丘と同様に、東日本大震災の津波の高さよりも高く、万が一逃げ遅れた際の避難場所になります。丘の最上部には防災あずま屋やソーラー照明による充電器など、一時避難場所として便利な機能が整備されています。
※避難丘は地震発生後に万が一逃げ遅れた場合の避難場所です。地震が発生したら、原則千年希望の丘より内陸（西側）にあるかさ上げ道路を目指し、さらに内陸側へ避難するようになります。

徒歩移動

映像視聴・見学・案内終了

千年希望の丘交流センター
千年希望の丘プロジェクトの概要、岩沼市の震災の被害状況、復興計画、震災発生から10年の復興への取組を時系列で知ることができます。

視聴時間：「千年希望の丘～東日本大震災から学ぶ」（18分）
「伝えたい復興～震災から10年 想いは未来へ～」（15分）